学校番号	1004

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	社情 312　高校社会と情報《新訂版》（実教出版）						
副教材等	高校社会と情報《新訂版》学習ノート　教科書完全準拠　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・座学・実技を通して、日常使っているコンピュータについての知識を深め、よい使い方は何かを考えましょう。
・教科書や学習ノート、プリントを通じて、さまざまな角度から物事を捉えることができるようになりましょう。
・情報の収集・編集・発信が適切に行えるように、情報活用能力を高めましょう。

２　学習の到達目標

１．情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
２．情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して，情報を収集，処理，表現させる。
３．効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち,身のまわりの問題を解決するために,自ら進んで情報及び情報技術を活用し,社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために,情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて,思考を深め,適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	B	c	d		
1学期	情報社会	情報と情報社会 社会の変化と個人の責任 情報社会の問題 個人情報とその保護 メディアとその特徴 メディアリテラシー	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:情報と情報社会の仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:個人情報の適切な取り扱いについて理解している。 c:メディアの適切な選択ができる。 d:情報を活用する利点について理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品
1学期	コミュニケーション	コミュニケーション 電子メールの利用 ネットワーク インターネットの仕組み Web ページの閲覧とメールの仕組み インターネットを利用したサービス	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a:情報ネットワークの仕組みに関心をもち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている。 b:情報システムや提供されるサービスの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c:効果的に情報を共有するため、情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d:情報伝達の仕組みについて理解し、安全に活用できる。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
2学期	情報安全	個人による安全対策 組織による安全対策 安全のための情報技術 暗号化 法規による安全対策 知的財産権の概要と産業財産権 著作権 著作物の利用	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:情報社会において、情報の発信者および受信者として、情報モラルや法を踏まえて、適切に行動をしようとしている。 b:情報技術、法や制度および人間との関係に基づいて情報社会の安全や発展について考えることができる。 c:情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d:情報社会を構築するために考え方や工夫について理解する。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査

3学期	ディジタル化	ディジタル情報の特徴 静止画像の扱い 数値や文字の表し方 音のディジタル化 色のディジタル表現 画像のディジタル化 圧縮の種類 圧縮の仕組み	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:コンピュータの仕組みに興味を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:情報機器を用いて情報をディジタル化することができる。 d:コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。ディジタル化の利点について理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
3学期	問題解決	問題解決 情報の収集 情報の整理と管理	○	○ ○	○	○ ○ ○	a:問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。 b:問題解決のためのさまざまな方法を考え、目的に応じて適切な解決方法を選択することができる。 c:問題解決のための、さまざまな技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。 d:情報の収集・編集・発信について理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。